

一般調査報告書

天皇誕生日レセプションと県内企業製品の展示などについて

2月の中国は、春節明けで多くの国民が実家から都市部へと戻り、仕事や学校を再開する時期です。日本の学校と異なり、中国の公立学校は春節の前後1か月ほどを冬休みとするところが多く、この期間を活用して帰省や旅行に出かける家族連れも多くいます。ですので、2月後半は日本の「仕事始め」に相当する雰囲気が中国を覆います。

愛知県上海産業情報センターの活動としては、2月後半は「天皇誕生日レセプション」の季節です。これは中国にある日本政府の在外公館（北京、広州、上海、重慶、瀋陽、青島、香港、大連）が天皇陛下の誕生日（2月23日）を祝い、各所在地にて記念レセプションを行うもので、その際、日本の政府機関や地方自治体、企業などが会場にてブースを出展し、それぞれの組織や地域のPRを行うのが定番のスタイルとなっています。

いずれの在外公館もレセプションは天皇誕生日の前後に行うため、業務スケジュール上、当センターとして全てのレセプションに出展することは難しいのですが、都合がつく限りなるべく多くのレセプションに参加し、愛知のPRを図っているところです。今回は、この天皇誕生日レセプションでの愛知PRの様子や、企業様との協力などについて、報告したいと思います。

【観光PRにとどまらず、県内企業の製品もPR】

愛知県上海産業情報センターでは観光関連の展示会や産業系の展示会など、これまでに様々なイベントに愛知県ブースを設けてPR活動を行ってきました。それぞれのイベントには特色があるのですが、天皇誕生日レセプションの特徴は何と言ってもその国際性の高さです。日本政府の在外公館が開設されている都市はいずれも国際都市で、他の国・地域の在外公館も多数あるため、多くの関係者がイベントに参加します。こうした方々の多くには、中国語ではなく英語で説明する必要があり、資料も英語のものを準備すると喜ばれます。

更に興味深いのは、各国の大使館、総領事館関係者の中に、日本に住んだことがある方々が少なからず居る、ということです。何度か参加して理解できたことなのですが、こうした方々の多くは「JETプログラム（The Japan Exchange and Teaching Programme）」の参加経験者で、当然ながら日本への知識と理解とがあります。愛知県に派遣された経験を持つ方とも複数巡り合うことができました。こうした方々と改めて愛知の魅力を話し合うことは筆者を含めた愛知をPRする立場の職員としても大変参考になるものであり、ブースでのこうした会話を耳にしてさらに他の方々もブース前に集まるなど、良い相乗効果ももたらしてくれるといったこともありました。

※ JET プログラム…地方自治体が総務省、外務省、文部科学省及び一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）の協力の下に実施する海外人材招致事業。招致された海外の青年は地方自治体、教育委員会及び全国の小・中学校や高等学校で、国際交流や外国語教育に関連する業務に携わる。このことにより、地域レベルでの草の根の国際化を推進する。

国際色豊かな様々な要人が来訪



一部イベントでは PR プレゼンも実施



金杉大使も来訪



愛知県ブースを訪問する多くの方は、愛知がどこにあるのか、何が有名なのかといった情報を持っていないことがほとんどです。ですので、こうした方々には愛知が自動車で有名な場所であることや、中国での広東省と特徴が似ていることなどをお伝えしたうえで、中心都市が名古屋であること、最近ジブリパークが開園した事などを説明して、関心を持ってもらうように努めています。さらに最近では愛知県内のインターナショナルスクールとも連携して、それら学校を紹介する資料を準備し、最近増加傾向にある日本への移住に伴う教育環境の紹介なども行っています。筆者も中国で生活していて強く感じるのは中国での教育コストの上昇と受験戦争の激化で、日本のインターナショナルスクールは中国のそれと比較するとコストも安く、また日本の治安の良さなども中国の移住希望者の立場に立つと魅力的に映ることです。

加えて、こうしたイベントで愛知 PR を行う上で欠かせないのが県内企業の製品展示です。これまで、あいや様（西尾市、抹茶粉末）、マルサンアイ様（岡崎市、豆乳）、カゴメ様（名古屋市、野菜ジュース）、メナード化粧品様（名古屋市、乳液など）、ブラザー様（ラベルプリンタ）、ノリタケ様（中国食器事業の総代理店「恵莉奈貿易」様）（名古屋市、食器）などにご協力いただき、各社の製品を展示、試用、試飲などさせていただいております。

それぞれの企業様やその製品の紹介を通じて、愛知の特色を物語ることができ、企業様に代わって紹介する筆者及び事務所スタッフにとっても、企業の歴史、製品の歴史という切り口から愛知を理解することができる点で非常にありがたく、こうした協業は今後も積極的に行っていきたいと考えております。なお、これまでは、イベントの性格上、一般顧客が購入可能な最終製品を製造する企業の製品の展示をメインとしておりましたが、今後についてはこうしたことにこだわらず、柔軟に企業様と協力して様々な製品などを展示・PR するべく、知恵を絞ってまいります。

【2025 年は北京、上海、広州に出展】

2025 年の天皇誕生日レセプションですが、愛知は北京、上海、広州のイベントに参加しました。北京、上海、青島は過去に出展したことがあるのですが、今回は初めて広州に出張し、愛知を PR することとしました。

これまでも報告しておりますとおり、愛知県と広東省は 2019 年に友好連携関係を樹立しており、いわば姉妹都市の関係にあります。昨年はその 5 周年ということで大村知事が広東省を訪問し、今後の連携などについて話し合ったほか、省内の日中企業を訪問するなど活発な交流を行ったのですが、そのことが今回の天皇誕生日レセプションでの広東省政府側代表のスピーチでも詳しく紹介され、期せずして愛知県が PR された状態でレセプションが始まりました。その後、愛知県ブースを訪問された方々からもこの点について質問などを受けるとともに、愛知県と広東省の絆の深さを多くの方々が認識されたことで、当地の愛知県企業や私たち愛知県上海産業情報センターとしても、実りの多い事業となりました。

貴島広州総領事（中央）も愛知 PR に一役



広東省政府側も愛知県との交流を全体に紹介



【レセプション参加に合わせて企業・機関を訪問、情報収集】

こうしたイベントへの参加のために出張する際は、その前後で愛知県企業や中国企業、中国地方政府や日本の在外公館を訪問し、現地情報の収集と事業などでの協力の可能性について情報収集、意見交換するようにしています。特に、経済関連の情報では日本貿易振興機構（JETRO）、観光インバウンド関連の情報では政府観光局（JNTO）など、各地域固有の事情や状況を理解するために、出張の際にはなるべく訪問するようにしています。また最近力を入れているのは自動運転、スマート製造など愛知県の産業構造と相性が良いと思われる製品やサービスを製造・提供する中国企業への訪問と、彼らと愛知県企業の交流促進です。近年は、混沌とした国際情勢の影響もあって多くの国が内向き志向を強める傾向にありますが、リスクを精査しながら、最先端の分野で米国と共に先端を走る中国企業から学び、そのダイナミズムを取り込むことで、自社の事業の強化につなげていただけたら、と思っております。

【より多くの企業とのコラボレーションを】

観光関連の展示会や産業関連の交流イベントといった数千から数万人単位での集客を誇るイベントと比較すると、日本大使館や総領事館が開催するこれらイベントは参加者数が数百から千人程度と、規模として決して大きなものではありません。一方で、世界各国からの要人や日中政財界の要人など、発信力のある方々に愛知を PR することができるほか、県内企業の紹介を通して通常とは異なる観点での愛知 PR ができるのも、天皇誕生日レセプションならではの PR の仕方ではないかと感じます。

この特殊性・希少性を十分に生かし、愛知県上海産業情報センターではより多くの県内企業様とのコラボレーションをもって、これからも愛知を PR してまいりたい所存です。この報告をお読みくださり、製品のご提供や展示にご関心をお持ちいただいた愛知県企業の皆様は、ぜひお気軽に愛知県上海産業情報センターまでご連絡ください。

参考：最近の中国内の主な動き

2月4日 日本貿易振興機構（JETRO）が実施した「日本企業の海外事業展開に関する調査」の記者発表によれば、中国で既存ビジネスの拡充や新規ビジネスを検討する企業の割合は33.2%だった。過去最低となった前年調査の33.9%からさらに下がった。地政学リスクの高まりへの懸念が日本企業の中国ビジネスへの意欲低下につながっているとみられる。

2月7日 英調査会社オムディアは、中国の生成人工知能（AI）市場が2029年に98億米ドル（約1兆5,000億円）規模になるとの予測を示した。24年の市場規模は18億米ドルだったとみられ、5年で5.5倍に拡大する計算。

2月9日 中国国家统计局の発表によれば、2025年1月の消費者物価指数（CPI）は、前年同月比で0.5%

上昇した。12 カ月連続のプラスとなった。上昇率は 2024 年 12 月から 0.4 ポイント拡大した。春節連休（旧正月連休、今年は 1 月 28 日 ～ 2 月 4 日）に伴う交通・観光需要が全体を押し上げた。

- 2 月 12 日 中国に進出している日系企業などをつくる中国日本商会は、在中国の日系企業の景況感に関する調査結果を発表した。2025 年の景況予測を前年に比べて「悪化」と「やや悪化」と回答した企業は計 44% となり、比率は 2024 年 11 月発表の前回調査から 20 ポイント改善。2023 年末の調査開始以来、初めて改善の傾向を示した。昨年から実施されている中国政府の経済対策の効果が、日系企業にも表れているとの見方が多い。
- 2 月 14 日 中国国家外貨管理局がの発表によれば、2024 年の国際収支（速報値）は、海外から中国への直接投資（FDI）が 45 億米ドル（約 6,855 億円）だった。2023 年の 427 億米ドルから 89.5% 減少し、1991 年以来 33 年ぶりの低水準を記録した。外資による新規投資が落ち込み、撤退や事業縮小の動きが続いているとみられる。
- 2 月 19 日 中国国家统计局がの発表によれば、2025 年 1 月の主要 70 都市の新築住宅（低・中所得者向け住宅「保障性住宅」を除く販売用住宅）価格は、24 都市が前月比で上昇した。値上がりした都市の数は 2024 年 12 月から 1 都市増え、5 カ月連続で増加した。政府は住宅購入の負担を軽減する措置を相次ぎ打ち出しており、市場の改善につながった。
- 2 月 19 日 中国市場監督管理総局（市場監管総局）など中央 5 部門は 19 日、消費環境の改善に向けた 3 カ年計画（2025～27 年）を発表した。品質管理の強化を通じて「中国製造（メイド・イン・チャイナ）」のイメージ向上を図る。消費者権利の保護にも取り組む。
- 2 月 26 日 中国工業情報省系の研究機関「賽迪顧問」は、「銀髪経済（シルバー経済）」と呼ばれる高齢者関連産業の中国の市場規模が 2030 年に 25 兆元（約 510 兆円）になるとの見方を示した。2024 年から 3 倍に急成長するとみている。

愛知県上海産業情報センターでは、今後も中国の現地情報を提供して参ります。

本資料は、上海産業情報センターが、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。
上海産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力していますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否は読者の判断で行ってください。
また、万一不利益を被る事態が生じても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。